会議結果のお知らせ

令和6年度第5回宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会を次のとおり 開催しました。

令和6年12月28日

宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会

- 1 開催日時令和6年12月19日(木) 午後4時~午後5時
- 2 開催場所宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2
- 3 議題
 - (1)総合計画(後期基本計画)原案について
- 4 会議の概要 別添のとおり
- 5 問い合わせ先 企画部企画課地域創生推進室 電話0193-65-7056

令和6年度第5回宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会

1 出席者(11名)

和川央、三河輝夫、渡部玲子、井田裕基、川又講平、長岡輝、赤沼悦子、伊東喜幸、中沢翔馬、成瀬賢紘、伊藤雄基、

2 欠席者(14名)

武藤勝久、芳賀桃子、山本美鈴、花坂雄大、赤沼喜典、上野宏介、鈴木ちほ、佐々木秀崇、村木海公、井川由貴子、加藤洋一郎、菅野悟、石川巧、伊藤綾

3 事務局出席者(3名)

企画課長 箱石剛、同課地域創生推進室長 竹田真吾、同課主任 佐々木英明

4 傍聴者

なし

- 5 議事等
 - (1)総合計画(後期基本計画)原案について

総合計画後期基本計画原案について事務局から説明し、戦略の数値目標案について 事務局案のとおり承認された。質疑等は詳細のとおり。 質問・意見

回答

【議題(1)「総合計画(後期基本計画)原案 について」】

(委員)

原案中の総合戦略の数値目標について、指標名について意見がなかったとのことだが、 事務局で一部修正している箇所があるように見受けられる。どのような修正か。

(委員)

数値目標の⑤「一人当たり課税所得」について、所得額について単年+1.3%の成長を 見込んだとあるが、根拠は何か。

(委員)

数値目標の⑦「結婚を希望する若者の割合」だが、最終年度が初年度の+5ポイントという数値は人口ビジョンで市が目指す合計特殊出生率に到達するために適正な数値なのか。

(委員)

基本目標3「結婚・出産・子育ての希望を叶える」は先ほどの数値目標の⑦のほか、数値目標の⑧「子育て環境に対する市民満足度」で現状値43.4点から50.0点を目指すことにより達成を目指すこととしているが、50.0点が適正かどうか、また2つの目標値の合理性、妥当性について事務局はどう考えるか。

(事務局)

総合計画部門別計画に掲げる指標名称に 文言を合わせるなどの軽微な修正である。

(事務局)

国が公表する2024年の経済成長見通 しの成長率を用いている。今後の見通しは公 表されていないが、今後5年間成長を続ける ものとして目標値を設定している。

(事務局)

市が2030年に目指す合計特殊出生率を達成するために、未婚率を10~15年前の推移に回復させる必要がある。社人研の全国調査数値で10~15年前の調査結果を見ると、結婚意向割合が直近より男女とも概ね+5ポイントとなっており、市も同様に+5ポイントの目標値とした。

(事務局)

基本目標3については、未婚者の結婚意向 割合の上昇という視点と、既婚世帯の子育て 環境への満足度の向上という視点という2 つの視点で整理して目標設定をしている。市 民満足度調査の結果が現状50.0点未満の項 目についてはひとまず50.0点を目指す目標 値としている。

(事務局)

付け加えての説明となるが、現在は仕事や 結婚、出産等も含めた家庭のあり方など、 様々な面で多様性が尊重される社会である ことは認識している。市としても多様なライ

フスタイル、価値観等を尊重しながら、結婚 を希望する人、出産、子育てを希望する人の 願いを叶えるための取り組みを行うことで 数値を上向かせたいと考えている。

(委員)

数値目標®の「ふるさと納税寄附額」は関係人口創出の達成度を測るものとして良いと思うが、可能であればこの制度によって市内事業者にどのくらい利益が生まれているかも含め今後評価検証を進めていければ良いと思う。

(委員)

総合計画における施策体系を見直した施 策の「関係人口・移住定住の促進」について だが、市では地域色を活用したプロモーショ ンに取り組んでいるものと思うが、基本事業 に文言として追加しないのか。

(事務局)

貴重なご意見である。経済利益を検証のう え、本員会でも情報提供できるよう担当部署 と調整を図りたい。

(事務局)

現在、地域色を活用したプロモーションのほかにも、ふるさと納税によるプロモーション、地元学生と共同したサーモンランドプロジェクト事業など、各方面で市の認知度や愛着度を高める取組みを行っている。基本事業として整理した「シティープロモーションの推進」は、これらの取組みを包括的な表現として広義の意味である。具体的な取組みは事務事業に掲げて取組みを進める。